

# AGRI WORK POINT

アグリ ワーク ポイント



## 着花調査

果樹林産センター 小柳博明

### 着花管理

近年、樹ごとで花のバラツキが大きくなっているため、樹の状態にあった管理を行う。

《着花の多い樹》有葉花摘蕾を行い来年の結果母枝を確保する。目安として長さ5cm以上または新葉5枚以上の有葉花を摘蕾する。

《着花の少ない樹》着果させたい花の近くの新梢を芽かきや摘芯をする事で、果実に分配される養分を増やして生理落果を抑制する。

### 葉面散布

着花の多い樹は樹勢維持・回復を、着花の少ない樹は早期の新梢の緑化により生理落果軽減を目的に、開花前から1次生理落果が始まる前までに尿素を散布する。

・尿素 500倍（3回程程度）

※病虫害防除剤に混用して散布

### 病虫害防除

5月は、灰色カビ病・訪花昆虫の防除時期。

《灰色カビ病》落弁期の降雨により花弁が幼果に付着することで発病し、果実にキズがつく

《訪花昆虫》花粉や蜜を求めて飛来し果実に細かいキズを付ける

### 五分咲き期

・灰色カビ病 フロンサイドSC

2500倍（30日ー1回）

・訪花昆虫 モスピランSL液剤

3000倍（14日ー3回）

### 落弁期

・灰色カビ病・そうか病 ナリアWDG

2000倍（14日ー3回）

### 開花後のかん水

着花量や樹勢にもよるが、5月の降水量が少ないと土壌乾燥により生理落果が助長される。

・開花後10〜15日程度まとまった雨が降らない場合は、10a当たり3t程度を目安にかん水する。